

農家のくらしを守りたい… そんな思いで普及員に



田中さんは農家の生まれ。両親は子どもに、農業の苦勞からか、好きな職業につけばいいと言っていたそうです。

農家に料理の仕方、便利なくらしの方法など教えてくれる指導員に子どもの時、田中さんはあこがれ、卒業後、改良普及員に。

就職当初、農家にパンやうどんの作り方を教えていました。当時、田中さんは「コメだけではなく小麦も食べた方が良くからだ」と教えられていました。

その後、日本共産党とも出会い勉強する中で、アメリカが日本に小麦を売り付けの施策をせまっていたことを学びます。また1品目を大量に作る農業経営、輸入自由化を行政は推し進め、農家は厳しい状況に追い込まれます。

やっぱり政治をよくしないと… 立候補へ

苦勞した両親を見て、農家を幸せにしたいと始めた普及員の仕事に限界と矛盾を感じた田中さん。54歳で普及員の仕事をやめ、政治を変えて農業をよくしようと選挙に出ることを決意。その後、町議を一期務めます。

鳥取市の合併後、町づくり協議会のメンバーとなって、鹿野町の町おこしに力を注ぎます。しかし一方で、くらしが大変になっていることに心を痛めます。田中さんは、鳥取市の隅々までくらしを支える政治にしたいと、市政の改革をめざしています。



田中文字子のお約束

- 国保料や住民税などの引き下げ、生活相談・援助の態勢の改善を求めます。
- 過疎地域の交通や商売への支援策を求めています。
- 農業経営とくらしを支える支援の増額を求めます。
- ごみ焼却場の大型化、広域化に反対します。
- 基地のない、平和な日本と鳥取をめざします。



あたたかい市政をすみずみに



田中文字子

たなか
ふみこ

日本共産党

いま私はまちづくりの活動に参加しています。行政と町民一体となった活動で鹿野はとても元気です。

しかし、くらしはなかなか大変です。「年金がどんどん減って行く」「近くに店がなく買い物がとても不便」「バスの便が悪くなった」と不安や不満を聞きます。

私は文化活動の支援にも関わっていますが、地域のくらしや文化は、あたたかい政治の手がさしのべられてこそ、守られ発展していくと考えます。

住所 鳥取市鹿野町鷲峯808 電話0857-84-3023

【プロフィール】
一九四三年淀江町に生まれる
一九六四年、短大卒業後、県職員に
生活改良普及員として勤務
二〇〇三年より鹿野町議を一期務める
現在、(株)サラベル鹿野取締役
町づくり協議会理事
JAいなば女性会鹿野支部会長

【主な相談活動区域】

鹿野町、気高町、青谷町、湖南校区、
神戸校区、美和校区、明治校区、世紀
校区、東郷校区、大正校区、末恒校区

鳥取民報

日本共産党の見解をご紹介します。ご意見・ご感想をお寄せください。

2010年7月発行

連絡先 日本共産党東・中部地区委員会 0857-23-6674